

2015年度日本生物教育学会総会報告

2016年1月10日に東京理科大学で総会を開催した。

米澤義彦日本生物教育学会会長の挨拶、第100回全国大会会長の東京理科大学坂口謙吾教授の挨拶に続いて早崎博之会員を議長に選出し議事に入った。

【報告事項】

総務委員会報告、事業報告、編集委員会報告、法人化の取り組みの報告、常置委員会及び特別委員会の報告、関連団体との連携の報告、2015年度学会賞受賞者の報告、2014年度下泉教育実践奨励賞受賞者の報告が行われた。

【審議事項】

1. 2014年度会計決算及び会計監査報告を承認した。
2. 一般社団法人日本生物教育学会への移行に関して
 - (1) 定款の第31条2及び第28条4の一部を変更する提案を承認した。
 - (2) 一般社団法人日本生物教育学会の代議員及び理事、監事についての提案を承認した。
 - (3) 任意団体としての日本生物教育学会を平成28年3月31日に解散し、平成28年4月1日をもって一般社団法人日本生物教育学会に移行することの提案を承認した。
 - (4) 法人化手続きにかかる業務移行、登記申請、代議員会（準備会）開催にかかる費用約98万円を下泉基金から支払うことの提案を承認した。
3. 2016年事業年度の活動計画に関して
 - (1) 2016年事業年度の期間4月1日～10月31日とする。
 - (2) 2016年事業年度の会費を一般会員は3,500円、学生会員は2,500円とし、団体会員は3,000円を基本に対応することとする。
 - (3) 2016年事業年度の「生物教育」の刊行は、Vol.57 No.1のみとする。原稿は電子媒体での受付とする。
 - (4) 2016年事業年度予算案は基本的には従来と同様に編成するが、2016年事業年度7か月分の予算を編成することとし、今後の税理士との打ち合わせを踏まえ新理事会（一般社団法人日本生物教育学会理事会）で決定する。
以上の活動計画の提案を承認した。
4. その他
 - (1) 3年間の会費滞納者21名を除名することの提案を承認した。
以上で総会を終了した。
その後、第101回全国大会の案内が渡邊重義会員（熊本大学教育学部）から行われた。
続いて、2015年度学会賞及び2014年度下泉教育実践奨励賞の授賞式が行われた。